

助成者	井上 禮子	活動期間	2013年4月～2016年3月
所属機関	特定非営利活動法人 パルシック	職名	代表理事

マレーシア国ペナン州零細漁民による水産資源保全活動

【活動場所】マレーシア ペナン州

【事業目的】マレーシアのペナン州は、過去には豊かなマングローブ林が沿岸を覆う地域であったが、近年の急速な開発により水質悪化が進み、海洋生態系が著しく劣化している。当地域で伝統漁業を営む零細漁民たちが立ち上げたペナン浅海漁民福利協会(PIFWA)が環境保全活動をおこなっているが、活動は小規模にとどまり周辺地域へ波及する影響力を持つには至っていない。本事業は、PIFWAと協働して、沿岸の水質浄化と水産資源保全のためにマングローブ植林を行い、地域住民に環境保全教育を行うことで、水産資源の共同管理のモデルを確立することを目的に実施する。

植林イベント参加者の写真



プトラジャヤ開催の環境問題会議

【活動内容】

- ①漁民への植林活動の拡大：漁民との話し合い及びワークショップを計14回、周辺環境調査を延べ12日間開催。
- ②マレーシア市民の植林活動への参加：マングローブ植林を実施（10,550本）。植林ワークショップを学生、企業、市民等へ延べ8回開催。
- ③広報：ポスター展示、活動パンフレット作成、ホームページ作成、NGO視察受入、マスコミ取材受入、活動紹介ビデオ作成
- ④モデル化へ向けた活動：漁業局・森林局主催のイベント・会議への参加や他地域への訪問など広く活動が認知されるように発信
- ⑤日本社会との交流：日本からのスタディーツアー、大学生及び企業の視察と植林。

【活動成果】

当初目標とした零細漁民への植林活動拡大や市民への植林活動参加について、数多くの話し合いやワークショップを重ねることで、2年間で概ね成果を実感できるレベルに達した。2014年度に漁業局が環境への配慮を求めて操業規制を導入したことから、伝統的漁法と環境活動を行うPIFWAの活動への関心が高まり、3年目はモデル化へ向けた対外発信に注力した。今後も、持続的な活動の拡がり期待できる。